

ピースズ

PIECES 2

PhantomCats

士郎正宗







9784878923753

ISBN978-4-87892-375-3

C0079 ¥1440E

青心社



1920079014403

定価：本体1440円+税



十兵衛社

SEISHINSHA

PIECES 2 ピース2 PhantomCats



ピースズ

PIECES 2

PhantomCats

士郎正宗

Shirow Masamune



SEISHINSHA



CONTENTS

FOXTAIL	004
CYRIL	006~
ANJA	008~
IRIS	010~
MARINA	012~
RONNE	014~
LECTURE HALL	016~
BALDACHIN	022~
KEY SLIT	024~
LOADING	026~
VERANDA HEAT	028~
NICHE	034~
WASH ROOM	042~
EXTRACTION ROOM	044~
BED FIGHT	052~
PRISONER CAGE	054~
TRENCH BUG	056~
GENE POOL 1	062~
DUMPING	068~
CUL-DE-SAC	070~
TOUR DE HESPERIA	076~
DOG FIGHT	082~
GENE POOL 2	084~

Anja Anon

Gariona Rohne

Maxim Hayam



Iris Hallett



彼女たちが所属する「危機管理を請け負う巨大企業」は一部が居住可能になった青紫色の火星に本社がある。火星では人口が4000万人に達しようとしているが地球から自由な移住が行われている状況ではない。先端企業や旧態依然とした国家が送り込む科学者集団などが圧倒的に多い。ゆえにトラブルも多いのだ。

国連の宇宙監視軍は月に小さな事務所がひとつあるだけだし、地球や月には幾つかの無法国家がいて海賊行為を日常の糧にしているし、ハイテク開発競争はたびたびハタ迷惑な危機的状況を作り出す。地球にはまだ古い政治体制なども残っているが基本的に大国は存在せず、代わりに5つの大規模企業グループと夫々に所属する巨大警備組織がある。

火星を中心に動いている人類世界において、元々軍事企業をベースとする「彼女たちが所属する企業」は、世界最大規模の警備力（軍事力）を誇っている。とはいっても、末端構成員である彼女たちにとってそれはあまり重要な意味をなさないようだ。

Cyril Brooklyn



RAISEPEACE

3

SHINOW
MASAMUNE

Cyril Brooklyn

シリル・ブルックリンは最近入社したばかりの研修生。訓練や講習を受けたり、書類の配達などするのが仕事のOLである。地球から移住してきてあまり時間が経過していないのでまだ筋力が低下しておらず、低重力環境の火星においては力仕事を頼まれたりする事も多い。特にナニといった優れた技能があるわけではなく、ブルックリン財団の総裁御令嬢という肩書きが履歴書の最大の特徴。アイルランド系男子の名前がついているのは彼女が生まれた時に総裁がちょっとあわてんぼうだったから。能天気な彼女は自由と強い刺激を求めて火星に来て何にでも興味津々、先輩たちに特別待遇で可愛がられるコトに。





アーニャ・アニオンは会社の機械整備士で、大型兵器ではなく日常装備品を主に取り扱うのが仕事。普段はラテン系のイケイケ・ガハハ系おねーさん。本人はあまりスポーツが好きではないが、身長があるためにビーチバレーだの低重力バスケットだのに動員されることが多い。派手でおちゃらけたプレススタイルは社外でも人気。サンパチムでは山車のセンターを任されているアイドル、トレーニングジムでは看板娘と、色々多忙。シ ril にとっては多少ガサツなところが苦手だが「頼れる陽気なアニキ」みたいな存在。あまり帰らない自宅はひっくり返したオモチャ箱状態になっているらしい。





Iris Hallett

イリス・ハレットは会社で数少ない「有能な女性の処理要員」。主に中長距離の支援狙撃を得意とする。近接格闘も普通以上にできるが用心深い性格から可能な限り避けようとする傾向がある。普段社内のどこで何をしているがよく分からないのだが任務のない時は新入社員の実器取り扱い指導の講習会などを行う。シリルとあまり年齢差がないのだが「この道の専門家」である。基本的に集団や人付き合いが好きではなく単独行動を好む（ねこじやし会は別らしい）。





Marina Hayami

ねこじやらし会屈指の体育会系おねーさまハヤミマリナはシンクロ系の元水泳選手で水難救助活動のアルバイトから海軍特殊部隊レスキュー関係を経てヘッドハンティングされて来た人物。
基本的に現場に出る事は稀で、あまりプールエリアから離れることが無い指導内勤である。マリナは男性的な態度や、訓練授業時間の一部を生徒達の自由時間にする事で、結構キビしいにもかかわらず女生徒達（訓練を受ける社員達）から人気がある。プールの女王に抱かれ人工呼吸されたくて溺れる不謹慎な輩も度々出るくらいだ。すぐ相手の身体に触ったりカラんだリバシバシ叩いたりするのがシリアルは苦手。





ガリオナ・ロンヌは、あまり似ていない双子の妹サビナ・ロンヌと共にヘスベリア軍警察から会社に出向してきている戦術指導教官（妹は内勤の初動捜査官）。はっきり言ってスーパードでコワイおねーさま。この姉妹がねこじゃらし会の創始者らしい。いつも周囲にコワモテの男達や指導中の生徒達を従えてニラミをきかせている。警察官というより本質的に軍人で、高圧的な喋り方をする。フニャけたシリルのような人物に対しては特にキビしく接してくる。

Gariona Ronne



LIMITED USES

1. In close fighting
2. Threaten to kill
3. A suicidal act
4. Strike on the neck

FILE-20020624



DEFINITION

火星の企業グループは広大な面積の敷地を所有しているのが通常だ。地球で言うところの都市或いは国家といった規模でリスク管理の観点からほぼ完全自給自足体勢が整っている。ここは技術開発関係者がプレゼンを行うような機密性の高い施設ではなく、新入社員が講義を受ける雑多な施設のひとつ。基礎部分は入植初期のドームを再利用している。

BIO-GELATINOID
SUPPORT SYSTEM
CHAMBER

DO NOT ENTER









微小流星群から都市を守る巨大天蓋が第一期工事完了目前で作業ロボットの世代間抗争事件に見舞われる。連絡が取れなくなった「作業ロボットの監視員」を捜すよう依頼された会社はシリルを事前調査に向かわせる。シリルは高高度の作業現場でロボット群体に排除対象の異物として追いかけまわされたり、不法侵入して生活をエンジョイしていたアベックを

救出したり、千からびた「目的の人物」を探し当てたりする。途中、天蓋に爆発物を仕掛けていた不審な赤い衣装の連中と出くわし低重力環境下で戦闘するハメに。監視員捜索の為に発行されたシリルの特別通行証の複製を使って天蓋施設内部を自由に移動していたその連中は宇宙海賊で、結局シリル共々、作業ロボットに施設から追い出されることになる。

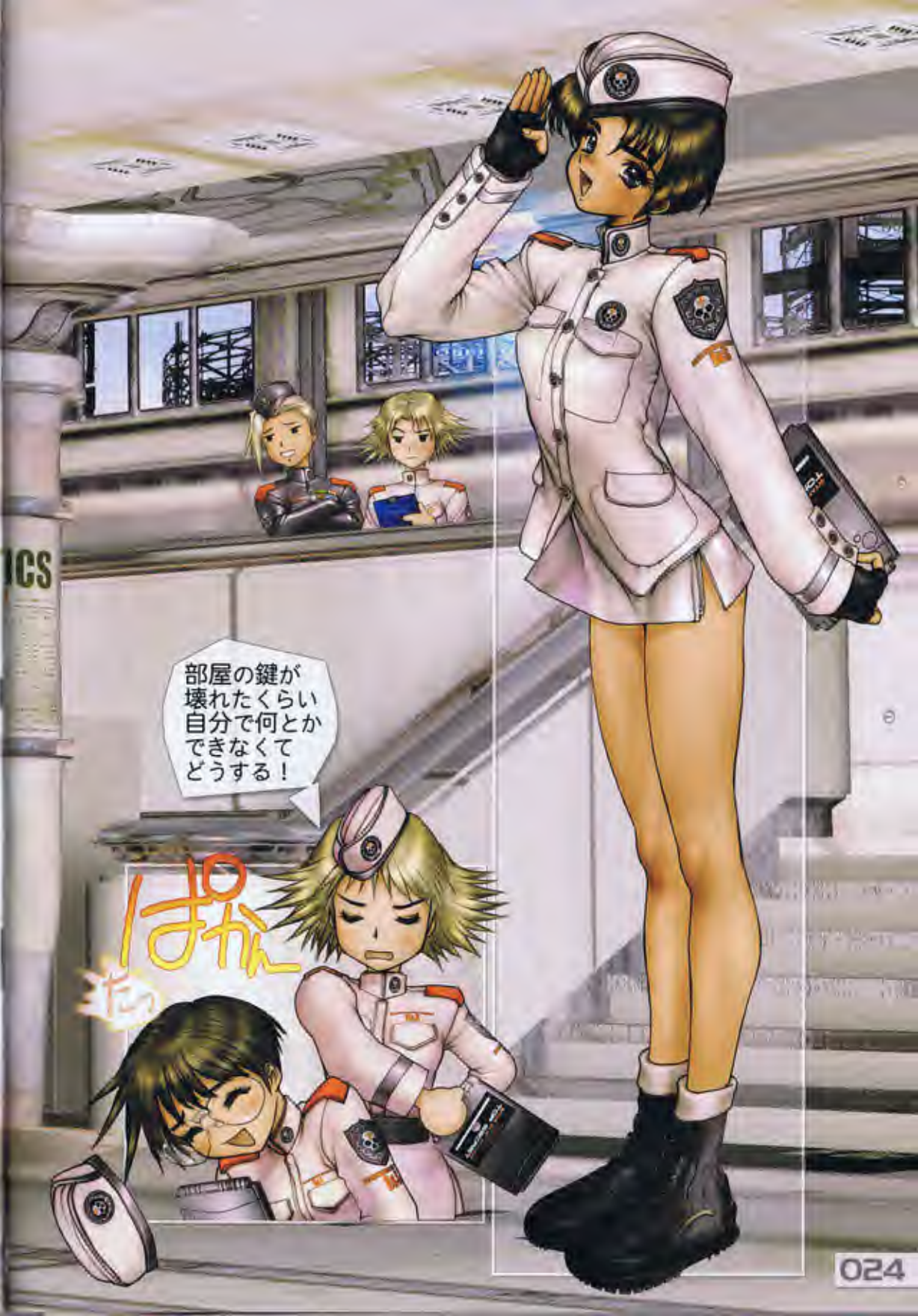


言っとくけど
こゝでは
講習受けたら
書類届けたり
するだけだから

毎年入社して
くるんだよね
こーゆーの

とゆーよな
ハデな事件とか
ないかな〜
と思っ









まだ火星時間と低重力環境に慣れていないためか、よく居眠りするシリル。新入社員研修期間の間はさほどスケジュールがタイトでは無いので特に問題は起きないのだが、日時の感覚が狂ったままなので多少困っている。







昨日の晩は天文鑑賞会
…の筈だった
後始末係なんで僕だけ
居残ってるんだけど
もしかして今からまた
アレ 続きがあるの？



ありません！
てゆうが
アレの続きは
誰か元気溢れる
協力者募集
ってコトで…
あっ いやぞの

ぞぞぞ
そんな所で
何してるん
ですか！

社内のある人物に日常備品を届けることになったシリルは、その人物が「今日も活動記録があるのにどうやら以前から失踪しているらしい」という妙な状況に出くわす。失踪人の搜索を始めたシリルは同じ居住地域で同様の案件が複数発生しており、失踪者達がいずれも同じ試供食品を口にしていたことを突きとめる。失踪者達は帯電したゲル状の不定形生物に変身しており、以前の生活の真似事をしていたり配管の隙間などをつたって移動し、廃棄された地下施設で融合・分裂などを繰り返している。意図的かどうか分からないが、配電施設や水道汚染などで問題を起こして「排除部隊」が大規模出動する大騒ぎに事態が発展する。目的の人物が使っていたオフィスに度々現れるゲル生物があり、幾らかは知能も残っているらしいので、タイミングを見計らって事務配達の旨を告げると、その生物は受け取りの書類にハンコをついてくれて、シリルにとっては一件落着。

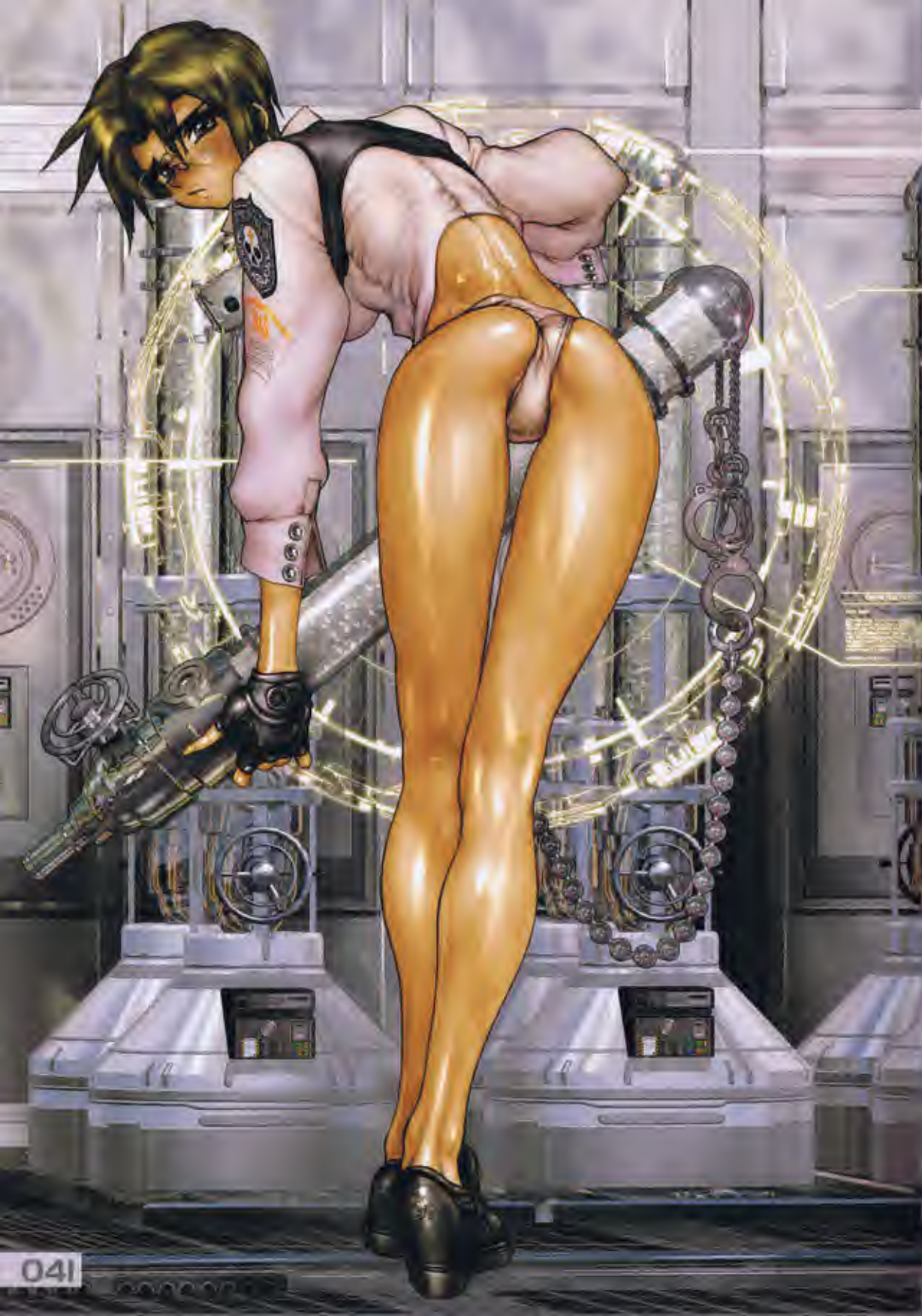
イリスを含む排除部隊は「電磁気を利用したトラップ」で、ドーム都市のあちらこちらに出没するゲル生物達を特殊シンダーに捕獲する事に成功する。会社は一部を研究施設に隠匿することに。





保存容器を分析室に移動中、温度設定を間違えた為か、シリンドーから漏れ出してきたゲル状生物にまとわりつかれるシリル。といっても襲っているわけではなく老廃物や雑菌などを摂取しようとしているらしい。或いは元人間だった頃からこういう性質があった個体か。





火星では数多くのロボット達が施設修復や建設、掃除や警備、監視、倉庫管理、輸送、サービスなど多岐にわたる作業を行っている。中には不必要に知能の高い実験用タイプなどいて、時々面倒な状況になる事もある。





本当は必要ないが念のため洗浄されるシリル。どこから情報入手するのか本来の業務を離れて参加するマリナ他。



シリルはイリスに命じられて、18個のマイクロメモリをコンテナアレイに入れてロンヌ姉妹に配達中。メモリーの中にはどんな情報が入っているのかシリルには分からない。こういった荷物配達作業も訓練課程の一部だが、実際問題何にどう役立つのかは全くの不明である。

シリルが手持っているのは熱硬化ジェルの1リットルシリンドラーが6本入ったタンク。コンテナアレイを体内から取り出す際の難易度が高い場合などに使用するもの。通常は200ミリリットルもあれば充分事足りるのだが、ロンヌに「持って来い」と言われたらしい。









TARGET PROFILE

CYRIL BLOOKLYN

ESPECIAL ANALYST

AGE 018+2m5d

9to5 OFFICE WORKER

INDEPENDENT MEANS

SYSTEM ONLINE

某国の王室継承争いで血腥い事件が続ぎ優先順位が低くて無関係だった「ある少女」が暗殺の対象になる。彼女を守りたい人物からの依頼でイリスが警護する事に。ところが少女は仮想空間の常駐者で物理身体が何処にいるか不明で居場所を捜索している時間も無い。暗殺者が「モング・ハイエナ」という電賊を仮想空間に送り込んだと情報がありイリスが電子的に彼女を警護する事に。密かにシステムに介入し、敵のハイエナ兵士達を凍らせたり、少女に休憩所を用意&足止めし敵の待ち伏せを回避させたりしていたが敵が介入に気付いて逆探しイリスの物理身体に対して双子の殺し屋ゼロニカとネラドンナを送ってくる。シリルは電脳接続中のイリスを護るべく奮闘する。

誰かが私に
オイタしないように
終わるまで
目を離さず
見張ってるのよ
わかった？



やっぱり先輩に
援護して貰うべき
だったかも!!



地球を追われたネネル軍事政権の一群
が火星のヘスペリアドームを乗っ取ろう
と計画するのを察知した宇宙開発機構の
保安チームが社に協力を要請してくる。
地下廃棄物施設を改造したネネルの訓
練キャンプに潜入したロンヌと連絡を取
る為、シリルが単独で潜入、計画の全容
が書かれた書類を入手する。脱出体勢に
入るが、一個中隊規模の兵士達が施設に
到着するのにいくわしてしまい足止めさ
れる事に。施設内をうろついているうち
に、救援信号灯を落として発火させてし
まう。「侵入者の存在」を知った施設内
は蜂の巣をつついた状態に！ 施設の出
入り口は閉鎖されスプリングローは作動
するわ、驚いた新兵が発砲して仲間に当
たるわ、グレネードは暴発するわ、誤作
動を起こした清掃ロボット達は集団でス
タンビートするわの大騒ぎに…



20070318



屋外での居住が可能になった初期の頃の建造物は、想定外の巨大自然災害などで廃虚化することも多く、今も残るそうした区画は様々な訓練施設として利用されている。シリルは戦闘要員候補者ではないが、新入社員は一応全ての課程で訓練を受けることになる。こうした訓練もシリルにとって目新しいぶんには楽しいが「あまり疲れるのは面倒なのでイヤ」ということらしい。彼女の眼鏡はソフトコンタクトのような素材でできており、こうした訓練中も外さないが、本当に視力に補正が必要なのか否かはわからない。



行方不明だった訓練生を発見！
演習場の真ん中でサボって寝てたわ

この娘
しばらく
預かって
もいいかな？





地球から来る動植物や貨物コンテナの輸送量増加に伴って、火星でも近年、幾らか昆虫などの小型生物が存在するらしいというまことしやかな噂がある。火星では施設外壁などを修理するセンチメートル単位のクラスのロボット「セボット」が大量にバラ撒かれて至る所で生産&廃棄され働き続けており、中にはエラーセボット回収廃棄を行うタイプもあり、地球ではこれが昆虫類を排除することが知ら

れている。ゆえに地球よりも遥かにセボットが多い火星では、地球から昆虫が密航してきても生き延びるのが非常に難しいと思われる。この戦闘技術訓練所では特に建造物修復セボットが多く活動しており、なかにはこうしてシリルの下層の中に入り込んで修復個所を探すセボットもいる。こうした場合のセボットは古式に倣い通称「塹壕虫」と呼ばれる。







会社には潜水訓練用の深さ重視タイプ、荒波を起こせる海難救助訓練用の中型タイプ、そしてこのような通常のタイプのプールがあり、救助の基礎訓練やリハビリなどを行う（公式には）。





火星の表面はほとんどが海洋で非常に深い。色は青黒く、自然災害は規模が地球より遥かに大きい。本式の水難救助は、都市部やメガフロートが水没した場合を想定することが多いが、初期訓練課程はこういった感じで始まる。最近社員たちの娯楽施設と化しているようだ。





04:24:01:06
11:53:24:08

205

通称レッドモアイで水難救助訓練をするシリルに、なぜか給排水溝掃除ロボット「カクレナマコ」がじゃれついてくる。水質保持機構は常時作動しているが、受講生達のグループが入れ替わる時間帯はこのようなロボット達も活動するので水が一層奇麗になる。それが目的でシリルはわざと遅刻して来て補習を受けたりするのだ。後方に見えている箱状のものも掃除ロボットで、こちらは床磨き・ゴミ吸引が専門。



富豪のマダムから行方不明の愛玩ロボット「ジジヨム君」の捜索回収を依頼されたシリル達はソフト検索に失敗し、仕方なく帰巢命令を周囲にタレ流し、浮浪化している同型のロボットを大量に集めるのに成功する。分析するとロボット達が特定の産業廃棄物に汚染されていることがわかる。廃棄物のセンを追ううちに大企業の違法投棄を発見するが、隠蔽したい連中に追い掛けまわされることに。色々あった後にシリルはジジヨム君の回収に成功する。個体確認作業の中で、この愛玩ロボットにはマダムの交際相手達のあらゆるプライベート情報が教え込まれており、あわや深刻な「上流社会の個人情報流出スキャンダル」になりかねない大事件だった事がわかる。





宇宙海賊達が使用している武器がジェノメガ社の流出品である可能性が出る。調査を依頼されたシリル達は、兵器庫の出入り口にセンサーを仕掛けたり勤務記録や伝票を調べ、挙動の怪しいグループを特定する。武器不正持ち出しの現場を押さえるが、犯人護送中に海賊と戦闘になり、小型の宇宙戦艦が大破するわ、操舵機器が制御不能で太陽に向かうわ、ロボット兵士達が生存本能に目覚めて勝手にバニくるわの大騒ぎになる。







コンタクトを
落としたとか
言うなよ

わ、私の
事かな？

おいコラ
そこでアタマ隠して
尻丸出しになってる
挙動不審の小娘！





ヘスベリアの産業振興会が親睦目的で企業グループ対抗の自転車レースを開催することになり、シリルも会社を代表して出場することになる。元々「火星の企業同士で仲良くやりましょうよ」といったほのぼのしたものだったが、案の定、結構マジな様相を呈してくる。中でもアルゴリスグループが選手として地球からマルサナシア・サニラス第6王女を参加させるとニュースが流れた辺りから雲行きが怪しくなってくる。



多くの参加者が転倒事故に巻き込まれているうちに、どういふ手違いからか優勝してしまうシリル。「自転車事故で救急車両での搬送を装って王女を誘拐」という計画を阻止したり、メディアの前で王女の「わたくしティアラが欲しくて参加したのでありませんの」発言にキレて暴れたり、胸上げで脱げたり、色々と有名になってしまう。

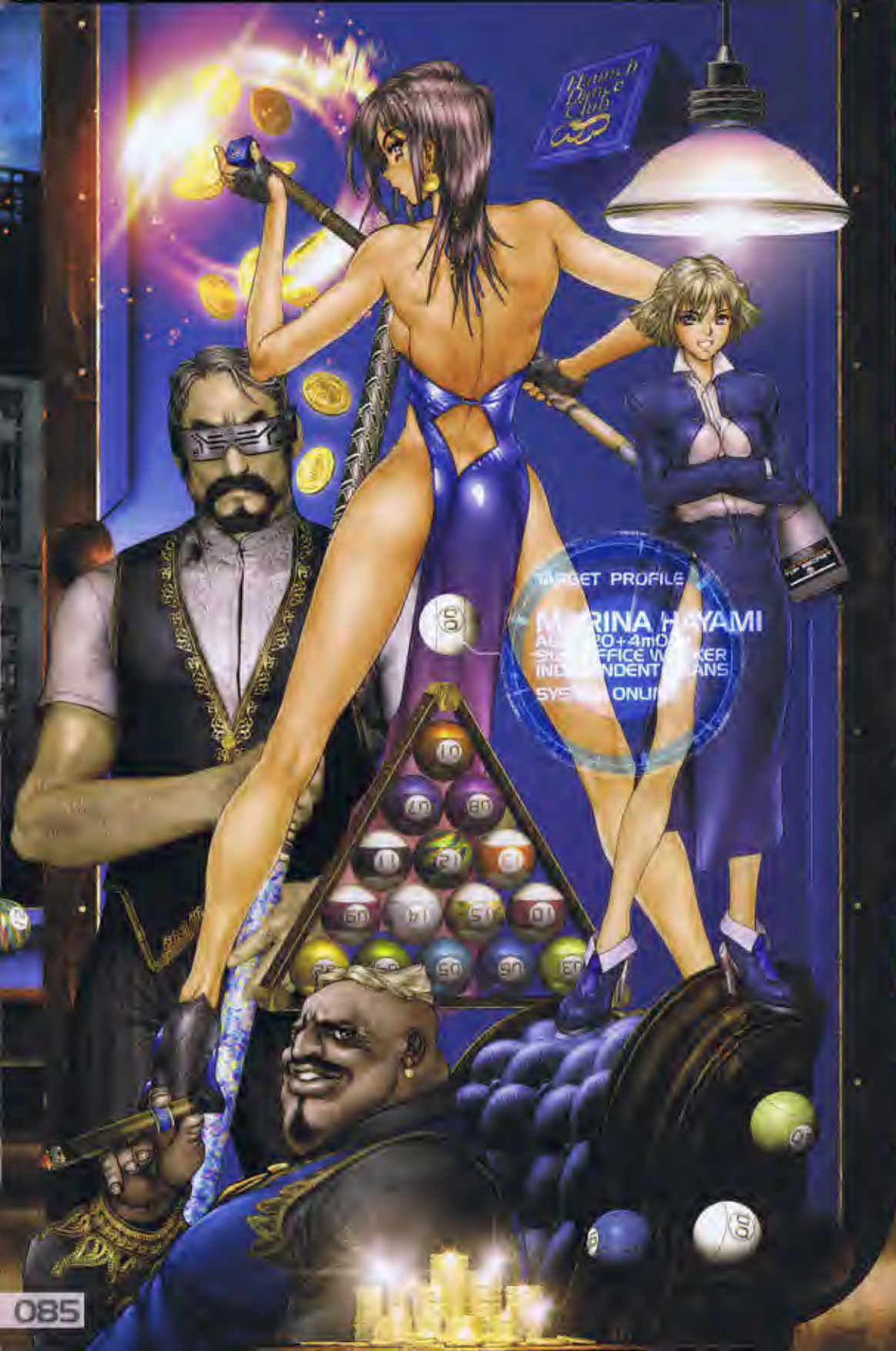


MARS LIGHTWEIGHT
HESPER
BROOKLYN - MARS R
TRAINEE
CYRIL BROOKLYN
REJINA HAJAM
LIGHTY U REYN
ANKA MORTY
JAMAN
ARNETT
PLEASE



火星の海軍特殊部隊の一部門が最近ある海域に頻繁に潜っており、上層部に秘密で何かしているらしい。調査協力の依頼を受けたB&S社は、元海軍特殊部隊関係者のハヤミマリナを軍の沿岸警備部門に潜入させる。地元警察のふりをして定時連絡に向かったシリルだったが、マリナの同僚が襲撃を受けている場面に出くわしてしまい、遺伝子操作された軍用の犬猪に追われるハメに。





基本的にマリナは内勤が主たる職務だが
 プールという単語繋がりで（つまりシヤ
 レで）たしなみ始めプロ級にまでなっ
 しまった火星式ビリヤードの特殊技能を
 評価され、潜入捜査の事前調査&シリル
 を潜入させる為の下地造りを請け負い、
 怪しい地下賭博場で活動中。

直径5、2センチのボールと直径4セン
 チの棒状キューを使用する火星ビリヤ
 ド（ルールは既存のものと大差ない）が
 流行ったのは2年前。このプールクラブ
 に資金洗浄容疑で手配中の人物が潜伏し
 ているらしいとの情報を得て、かねてよ
 り招待されていたシリルが付け焼き刃の
 練習をした後、賭け試合に挑むことに。





シリル嬢はこのようにして一人前の社員
&「ねこじゃらし会」の一員となり、新
たな技能を手に入れ、身体能力を開発さ
れ、火星での日々を過ごすことになる。
テロは阻止され、海賊は兵站を断たれ、
社交界のスクランダルは未然に防がれ、
廃棄物不法投棄は摘発され…たのかな？



PIECES2 PhantomCats

2010年 4月 12日 初 版 発 行

First printing

April 12th 2010

著 者 士 郎 正 宗

Author : © 2010 Shirow Masamune

発行者 青 木 治 道

Publisher : Harumichi Aoki

発行所 株式会社 青 心 社

Selshinsha Co., Ltd.

〒 550-0005 大阪市南区西本町 1-13-38

Shinkosan Bldg. 720

新 興 産 ビル 720

1-13-38 Nishi Honmachi

電話 06-6543-2718

Nishi-ku ,Osaka 550-0005

FAX 06-6543-2719

<http://www.selshinsha-online.co.jp/>

図 冊 00930-7-21375

Printing/binding : Do Nippon Printing Co., Ltd.

<http://www.selshinsha-online.co.jp/>

著了、風丁本はご直割ですが小社までご送付ください。送料負担にてお取替えいたします。

© Shirow Masamune 2010 Printed in Japan

印刷・製本 大日本印刷株式会社

ISBN978-4-67892-375-3 C00079